

自衛隊記念日レセプション大使挨拶

皆さん今晚は。ご挨拶の前に、トルコのイスタンブールで昨日発生した爆発事件について言葉を述べさせていただければと思います。この事件により、多くの死傷者が発生したことに関し、ご遺族に対し心からの哀悼の意を表するとともに、負傷者の方々にお見舞い申し上げます。テロはいかなる理由によっても正当化できず、日本はこのようなテロ行為を断固として非難します。日本は、トルコ政府及びトルコ国民に対し、強い連帯の意を表します。

本日ここに、ネルソン・アントニオ・タバジャラ・デ・オリヴェイラ外務省防衛部長、フェルナンド・ホドリゲス・ゴラール陸軍中将、ファイ・シャガス・メスキッタ空軍少将、ネウソン・ヌネス・ダ・ホウザ海軍少将をはじめ、多くの方にご参加頂き、自衛隊創設記念日を祝賀できることを大変嬉しく思います。皆様に心から感謝申し上げます。

ブラジルと我が国は、昨年、外交関係樹立 120 周年を迎えるなど、民主主義、法の支配といった基本的な価値観を共有する伝統的な友好国です。

一昨年の安倍総理訪伯時、首脳会談において防衛交流開始に関する合意がありました。それから 2 年、両国の防衛分野における協力関係は飛躍的に進展しました。昨年 7 月、海上自衛隊練習艦隊をブラジルの 3 寄港地に迎えるとともに、本年 2 月には岩田陸上幕僚長が貴国を公式訪問し、ビラス・ボアス陸軍司令官との間で陸軍種交流の本格化が合意されました。またソブリーニョ統合参謀本部長との間では、海・空軍種の交流の重要性についても意見の一致がありました。このように、日伯両国の防衛当局間交流は深化しており、大使として大変嬉しく思っております。

伯国防関係者の我が国に対する理解と交流の促進に心から感謝申し上げます。

さて、今年はリオデジャネイロにおいて 2016 オリンピック・パラリンピックが開催されます。次回 2020 年は東京で開催されますが、このような場面でも、ブラジルと日本の「縁」を感じる次第であり、日伯両国はスポーツ交

流も進めているところであります。

リオ大会の成功とともに日本とブラジルが共にオリンピック・パラリンピックで多くのメダルを獲得できるよう祈念致します。

なお、本日は NEC、TOYOTA、YAMAHA、日本無線及び三菱重工の協力を得て、様々な展示を行っておりますので、是非ご覧ください。この機会に協賛企業の方々に感謝申し上げます

最後に、皆様のご健勝と日伯関係の一層の強化を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。